

平成 30 年度 役員

◎会長

鋤柄 佐千子
(京都工芸繊維大学 繊維学系 教授)



鋤柄佐千子 会長

◎副会長

- ★井上 真理 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授)
- 高納 伸宏 (津田駒工業株式会社 代表取締役社長)
- ★田上 秀一 (福井大学 学術研究院 工学系部門 教授)
- ★西脇 剛史 (株式会社アシックス 取締役・フェロー)
- 三木 勝策 (TMT マシナリー株式会社 代表取締役社長)



井上真理 副会長



高納伸宏 副会長



田上秀一 副会長



西脇剛史 副会長



三木勝策 副会長

◎理事

- 稲垣 録哉 (株式会社豊田自動織機繊維機械事業部技術部部长)
 - ★勝圓 進 (倉敷紡績株式会社繊維事業部技術部長付)
 - 金井 博幸 (信州大学学術研究院繊維学系准教授)
 - 亀井 孝典 (株式会社島精機製作所トータルデザインセンター部長)
 - 河原 喜久 (帝人フロンティア株式会社技術・生産本部生産・品質管理部長)
 - 鞠谷 雄士 (東京工業大学物質理工学院材料系教授)
 - ★木村 裕和 (信州大学学術研究院繊維学系教授)
 - 倉敷 哲生 (大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻教授)
 - 香出 健司 (ユニチカ株式会社産業繊維事業部繊維資材生産開発部部长)
 - 近藤 幹也 (地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター理事事業化支援本部長)
 - 才脇 直樹 (奈良女子大学生生活環境学部教授)
 - 作田 光浩 (東洋紡株式会社繊維生産技術総括部長)
 - 清水 敏昭 (東レ株式会社テキスタイル・機能資材開発センター所長)
 - 中西 康雅 (三重大学教育学部准教授)
 - 保田 和則 (愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻教授)
 - 山本 貴則 (地方独立行政法人大阪産業技術研究所製品信頼性研究部研究室長)
 - 與倉 弘子 (滋賀大学教育学部教授)
 - 横山 敦士 (京都工芸繊維大学繊維学系教授)
- ★ 業務執行理事

◎監事

- 金井 宏彰 (金井重要工業株式会社代表取締役社長)
- 喜成 年泰 (金沢大学理工研究域機械工学系教授)
- 松本 龍守 (村田機械株式会社繊維機械事業部営業部)

平成 30 年度

各種委員会・研究会

◎支部長

関東支部長 河原 豊 (群馬大学)

信越支部長 木村 裕和 (信州大学)

北陸支部長 田上 秀一 (福井大学)

東海支部長 西松 豊典 (信州大学繊維学部特任教授)

中国支部長 筒井由紀子 (福山市立女子短期大学名誉教授)

企画委員会

- 委員長** 倉敷 哲生 (大阪大学)
- 副委員長** 杉山 研志 (TMT マシナリー)
東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)
- 企画委員** 青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)
秋月 健司 (東レ)
稲富伸一郎 (東洋紡)
内丸もと子 (M.U.PLANNIG)
小川 敦久 (クラレ)
奥野 智朗 (住江織物)
梶原 幸治 (キョーワ)
勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)
黄 楚 (カトーテック)
佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)
佐藤 克成 (奈良女子大学)
滋野 治雄 (帝人)
竹本由美子 (武庫川女子大学)
筒井久美子 (村田機械)
中根 幸治 (福井大学)
西田 裕紀 (関西ファッション連合)
野田 博文 (トヨタ紡織)
馬場武一郎 (日本毛織)
林 久秋 (豊田自動織機)
廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)
深沢太香子 (京都教育大学)
藤井 智成 (津田駒工業)
堀場 洋輔 (信州大学)
松原 孝典 (産業技術短期大学)
森 洋人 (アシックス)
森島 英暢 (倉敷紡績)
山田 博夫 (ユニチカトレーディング)
山田由佳子 (大阪教育大学)
- アドバイザー** 宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))
木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)
武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)
松崎 健 (ミズノ)
松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

ジャーナル編集委員会

- 委員長** 保田 和則 (愛媛大学)
- 副委員長** 山本 貴則 (大阪産業技術研究所)
- 編集委員** 井上 真理 (神戸大学)
上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)
植松 英之 (福井大学)
金井 博幸 (信州大学)
金田 直人 (福井工業高等専門学校)
小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)
近藤 幹也 (東京都立産業技術研究センター)
坂口 明男 (信州大学)
解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)
廣垣 和正 (福井大学)
松岡 敏生 (三重県工業研究所)
向井 康人 (名古屋大学)
安永 秀計 (京都工芸繊維大学)
山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
山本 剛宏 (大阪電気通信大学)
與倉 弘子 (滋賀大学)
横山 敦士 (京都工芸繊維大学)

学会誌編集委員会

- 委員長** 勝圓 進 (倉敷紡績)
- 副委員長** 岡本 陽子 (神戸女子大学)
- 編集委員** 一田 昌利 (京都工芸繊維大学)
乾 明子 (カケンテストセンター)
大槻 剛 (上田女子服飾専門学校)
大萩 成男 (わかやま産業振興財団)
岡 正毅 (村田機械)
岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)
勝 真理 (アシックス)
鈴木 芳史 (帝人)
高橋 朋子 (旭化成)
田上 秀一 (福井大学)
峯村 慎一 (東洋紡)
村井 大輔 (消費科学研究所)
柳澤 真 (TMT マシナリー)
山口 創 (ユニチカ)

研究会

繊維機械研究会	委員長	喜成 年泰
テクテクスタイル研究会	委員長	田上 秀一
不織布研究会	委員長	矢井田 修
コンポジテックス研究会	委員長	中村 崇人
繊維リサイクル技術研究会	委員長	木村 照夫
テクスタイル科学研究会	委員長	鋤柄佐千子
企業心理と消費者心理研究会	委員長	辻 幸恵
ナノファイバー研究会	委員長	山下 義裕
バーチャルテクスタイル研究会	委員長	横山 敦士
スマートテクスタイル研究会	委員長	堀 照夫
衣 coromo @未来研究会	委員長	中村 信
テクスタイル技術教育研究会	委員長	中西 康雅

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)
運営委員	伊藤 博 (イトー・ピー・イー・オフィス)
	今田 邦彦 (今田技術士事務所)
	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	上野 清隆 (日阪製作所)
	榎本 雅穂 (京都女子大学)
	岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)
	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)
	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)
	桑原 里実 (和洋女子大学)
	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)
	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)
	橋本 嘉顯 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)
	松原 孝典 (産業技術短期大学)
	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)
	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)

繊維産業活性化委員会 (繊維・未来塾)

塾長	松田 正夫 (元大阪繊維リソースセンター社長)
副塾長	近藤 健一 (株式会社おふいすけんいち代表取締役社長)
	松尾 憲久 (マツオインターナショナル株式会社代表取締役社長)
	八代 芳明 (東海染工株式会社取締役会長)
	山下 雅生 (株式会社エイガールズ取締役会長)
幹事	松下 義弘 (京都工芸繊維大学 非常勤講師)
運営委員	糸井 弘一 (関西ファッション連合 戦略室 特命担当)
	宇治 光洋 (ダイセン株式会社(繊維ニュース) 編集グループ記者)
	白谷旗世彦 (大津毛織株式会社代表取締役)
	貝原 良治 (カイハラ株式会社代表取締役会長)
	北丸 豊 (豊栄繊維株式会社代表取締役社長)
	桑名 紀夫 (日本パーソナルカラー協会 顧問)
	高澤 史納 (高澤織物株式会社テクスタイルデザイナー)
	高杉 哲朗 (株式会社ショーワ代表取締役社長)
	辰巳 雅美 (辰巳織布株式会社代表取締役社長)
	山本 敏明 (西染工株式会社代表取締役)
	米倉 勝久 (株式会社タカラ代表取締役会長)
	渡邊 利雄 (渡辺パイル織物株式会社代表取締役社長)

情報化委員会

委員長	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
委員	保田 和則 (愛媛大学)
	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)

平成 30 年度

日本繊維機械学会賞

平成 30 年度日本繊維機械学会賞は、学会賞選考委員会案をもとに、3 月 24 日に開催の第 209 回理事会において下記の通り決定し、6 月 2 日の学会賞贈賞式において贈賞されました。

論文賞

撚糸の撚り戻り挙動のモデリングによる解撚トルクの推定とそれに基づく平編地の斜行予測

大阪大学
乾 陽亮, 若松栄史, 森永英二, 荒井栄司, 八木宏幸, 森 秀茂, 松本龍守

村田機械(株)

本論文は平編みの斜行現象の予測を目的としている。撚り戻り試験における撚り戻り挙動を、解撚トルクを含む形でモデル化し、シミュレーションと実測結果の比較から解撚トルクを推定する手法を提案し、平編み構造の斜行現象のモデリングを行っている。斜行現象モデルに代入して求めた斜行度を実測値と比較し、今回提案された手法の妥当性について検証している。本論文の成果は、理論の構築と理論に含まれる物性値の解析手法の確立とによって得られており、編物設計における業界貢献価値とともに学術的価値も高く、論文賞としてふさわしいものである。



乾 陽亮



若松栄史



森永英二



荒井栄司



八木宏幸



森 秀茂



松本龍守



環境に優しい高耐久防汚加工技術

東レ(株)

竹下将太，柄澤留美，小森晋也，大塚亜津希，竹田恵司

防汚加工には、汚れをつきにくくする性能（SG 性）と汚れを落としやすくする性能（SR 性）が求められるが、SG 性を高くすると洗濯液が素材に浸みこみにくくなり SR 性が低下しやすく、SR 性を高めるため吸水性を上げると SG 性が低下しやすくなるため、従来この相反する 2 つの性能を高いレベルで実現することは困難であった。

本防汚加工は、独自のナノスケール加工を駆使し、防汚加工時に使用する薬剤の親水性成分と疎水性成分の混合バランスをポリマーレベルでコントロールするとともに、防汚加工により生地上に形成する被膜に親水性と疎水性の成分を立体的に配置することで、SG 性と SR 性の両機能を最大限発揮する最適な被膜構造を追求している。また、環境残留性と生体蓄積性が知られている PFOA（パーフルオロオクタン酸）を含まない薬剤を使用して環境に配慮している。皮脂汚れ、食品汚れ、繰り返し洗濯による黒ずみなど様々な汚れに効果を発揮し、高温の工業洗濯を繰り返し行った後でも高い SG 性と SR 性を維持する。単一素材の生地だけでなく、短繊維を使用した生地や複数の繊維素材を混用した複合材料にも加工が可能であり、カジュアル、ユニフォーム用、寝具といった幅広い分野で適用できる。多様化する市場のニーズに応じて今後の発展が期待され、「技術賞」として十分な価値があると認められる。よって、ここに日本繊維機械学会「技術賞」を贈賞する。



竹下将太

柄澤留美

小森晋也

大塚亜津希

竹田恵司

技術賞



自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構

村田機械(株)

梅原嘉人，谷川保伸，牟田勝文，竝川哲也

自動ワインダーにおけるドラム機構は、ドラムの溝に沿って糸をトラバースしながらドラムの摩擦力でパッケージを駆動する、巻取りと綾振りが一体となった合理的なシステムである。しかし、綾角が一定のために形成されるリボン層を避けるためドラムの回転数を脈動する等の制御が必要なほか、糸種用途により異なるパッケージ幅や密度、形状への要求に答えるためにはドラムそのものを交換しなければならない。

上記課題の解消を目的として本技術ではパッケージをモータで直接駆動するダイレクトパッケージドライブと、綾振りにアクティブアームトラバース機構を開発し、2つの独立した装置をサーボ制御することで高速巻取りを可能にした。

本技術により、正確なりボン層形成の回避、パッケージ形状と密度の自由度の向上、染色パッケージ巻きの生産性向上、消費エネルギーの削減を実現した。

以上、斬新なアイデアにより自動ワインダーに大きな変化をもたらした本技術開発は「技術賞」として十分な価値があると認められる。よって、ここに日本繊維機械学会「技術賞」を贈賞する。



梅原嘉人

谷川保伸

牟田勝文

竝川哲也

学術研究奨励賞



学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立70周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的として設立しました。

学術研究奨励賞は、平成30年3月24日に開催の第209回理事会において、以下の通り決定し、6月2日の学会賞贈賞式において贈賞されました。

研究題目：「動作時の関節トルクを指標とした着衣の動作快適性評価」

氏名：堀場 洋輔

所属：信州大学 繊維学部 先進繊維・感性工学科 准教授



堀場洋輔

学術賞



「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年 12 月 31 日で、40 歳以下の者。

栃木県産業技術センター 丸 弘樹

丸弘樹氏は、現在、栃木県産業技術センターの繊維技術支援センター技師（研究職）として勤務されている。主に地場繊維関連企業を対象に繊維および繊維製品の試験評価に関する技術指導を行うとともに高度な依頼試験業務に従事している。また、繊維技術に関連する研究には職務として真摯かつ精力的に取り組んでいる。

Journal of Textile Engineering 誌には 2017 年と 2018 年のわずか 2 年間で実に 7 報もの論文が掲載されており、そのうちの 6 報がファーストオーサーである。その多くは、博士学位研究テーマの黒色織物の視覚的風合評価に関連するものであるが、衝撃作用に対するずり落ち抑制を目的としたスポーツソックスの設計指針を与えるものや上衣の重量がヒトの肩部へ与える負荷に関する基礎的研究、スライドファスナを対象にした微視的測色方法の提案など広範な研究も見受けられ、丸弘樹氏の年齢から考え合わせると将来、大いなる発展の可能性を感じさせるものが散見される。

今後も日本繊維機械学会の発展に大いに貢献することが期待される。よってここに学術賞を贈賞する。



丸 弘樹

学会誌編集委員会

委員長	勝圓 進 (倉敷紡績)		
副委員長	岡本 陽子 (神戸女子大学)		
編集委員	一田 昌利 (京都工芸繊維大学)	乾 明子 (カケンテストセンター)	大槻 剛 (上田女子服飾専門学校)
	大萩 成男 (わかやま産業振興財団)	岡 正毅 (村田機械)	岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)
	勝 真理 (アシックス)	鈴木 芳史 (帝人)	高橋 朋子 (旭化成)
	田上 秀一 (福井大学)	峯村 慎一 (東洋紡)	村井 大輔 (消費科学研究所)
	柳澤 真 (TMT マシナリー)	山口 創 (ユニチカ)	

学術奨励賞

平成30年6月1日、2日に開催の、第71回年次大会研究発表会の中から厳正な審査の結果、次の通り学術奨励賞を贈賞する。

京都工芸繊維大学

石井 佑 弥

発表番号：C 1 - 0 1

「エレクトロスピンニング法で作製した非晶性ポリマサブミクロンファイバの逆圧電特性と光導波特性」



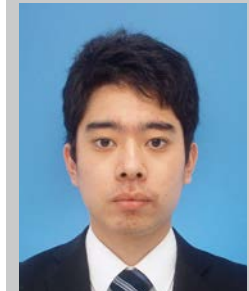
石井佑弥

岡山大学

吉山 貴 之

発表番号：C 1 - 0 3

「カーボンナノチューブ（CNT）紡績糸とポリエチレンテレフタレート（PET）糸からなる複合撚線型ソフトアクチュエータの開発」



吉山貴之

(株)アシックス

野々川 舞

発表番号：D 1 - 0 6

「競泳用水着の着用時変形挙動を予測する簡易解析手法」



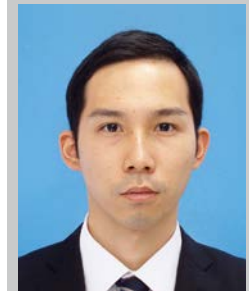
野々川舞

東京工業大学

宮尾 友 貴

発表番号：C 2 - 0 2

「液体恒温槽を用いた高速溶融紡糸法による生分解性 PHBH 繊維の製造」



宮尾友貴

ベストポスター発表賞



平成30年6月1日、2日に開催の、第71回年次大会研究発表会「ポスターセッション（学術研究発表コーナー）」の中から厳正な審査の結果、次の通りベストポスター発表賞を贈賞する。

(株)アシックス

森 洋人

発表番号：P1-07

「ランニング用足首サポーターの開発」



森 洋人

福井工業高等専門学校

林田 剛一

発表番号：P1-08

「仮燃加工機におけるサージングと糸張力の関係について」



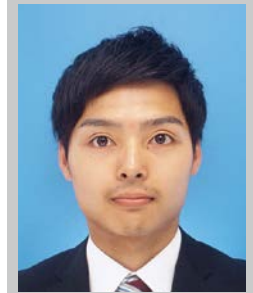
林田剛一

大阪大学

中居 知大

発表番号：P1-19

「炭素繊維強化複合材料の成形時におけるリンクル発生評価」



中居知大

平成 30 年度

日本繊維機械学会名誉会員

「繊維ならびに繊維機械の学術技術の発展に対して功績顕著で、本学会の目的達成に多大の貢献を成された、次の方に日本繊維機械学会名誉会員の称号を贈呈します。



木村照夫

矢井田 修

平成 30 年度

日本繊維機械学会フェロー

「繊維ならびに繊維機械の学術、秘術の発展向上に顕著な貢献を行った方に日本繊維機械学会フェローの称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて本学会のより一層の活性化を図ることを目的とする（日本繊維機械学会フェローに関する規定第1条）」により、平成30年度日本繊維機械学会フェローとして、次の方を認定します。



一田（高濱）昌利

井上真理

木村裕和

武内俊次

西脇剛史

横山敦士

講演会「繊維」×「AI」 ～ AI・ビッグデータ・ロボット・IoT が繊維産業に切り拓く未来～

AI・ビッグデータ・ロボットを巡る昨今の技術進展は目まぐるしく、繊維産業においてもウェアラブルやファッション、介護・医療など様々な分野への用途展開が期待されます。「繊維」に「AI・IoT・ロボット・ビッグデータ」を融合すれば、どのような技術・ビジネスの展開が図れるのか、各分野の第一人者にご講演頂きます。皆様のご参加をお待ちしています。

期 日 2018年8月3日(金) 10.00～16.30

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 「地域包括ケアへの応用を目指したファッションナブルな IoT デバイス／システム開発」

…………… 奈良女子大学 研究院 生活環境科学系 教授・学長補佐 才脇 直樹
私たちは、女性や生活者の視点を生かしたデバイスやシステムのデザイン及び開発を目指す生活工学に取り組んでいます。今回は、衣服やアクセサリといった身近なアイテムのスマート化技術であるウェアラブルエレクトロニクスを概観し、その長所と短所を踏まえた上で、今後の少子高齢化社会に生かす取り組みについて紹介します。

11.10～12.20

(2) 「スマート衣料を活用した労働環境評価と健康経営の実現」

…………… 大阪大学 大学院 基礎工学研究科 機能創成専攻 教授 清野 健
心拍数、身体活動量などの生体情報を計測可能なスマート衣料が開発され、医療診断や日常の健康管理への応用が期待されています。本講演では、健康対策としてだけでなく、ミスや事故の発生リスクの低減といった労働環境での利用を想定したスマート衣料や生体情報の活用法を紹介します。さらに、企業全体の健康経営を実現するために、IoT 技術を活用したサイバーフィジカルシステムの可能性についても紹介します。

13.10～14.10

(3) 「ロボット・AI 技術の導入をめぐる生活者の受容性と課題－日米独3カ国調査からの示唆－」

…… (株)野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部 上席コンサルタント 日戸 浩之
日米独の国際比較調査の結果によると、日本では「ロボット＝人型」でコミュニケーションが取れる対象として親近感がもたれています。それに対して、米国は今後のロボットの利用意向が3カ国では最も高く、一方でドイツはロボットが生活の中に入ってくることへの抵抗感が強いなど、各国民のロボットに対する価値観に違いがみられます。今や我々の生活や社会全体を変える可能性をもったロボットやそれを支える AI 技術をどう受け入れて利用していくかを考える時に来ています。

14.20～15.20

(4) 「ファッションテックによるイノベーションについて」

…………… (株)スタートトゥデイテクノロジーズ 代表取締役 CIO 金山 裕樹
ビッグデータや AI という言葉が毎日のようにメディアで取り上げられる昨今、ファッション分野においても大きなイノベーションが起きようとしています。研究所を立ち上げ、技術革新を目指す我々スタートトゥデイグループの運営するサービス、これまでの研究開発実績、そして、「なぜ積極的に研究開発を行うのか」その背景を紹介します。

15.30～16.30

(5) 「ファッションにおける新しい顧客中心のデータ活用」

…………… (株)エアークローゼット 代表取締役社長 兼 CEO 天沼 聡
日本初の「普段着」に特化したファッションレンタルサービス「airCloset」の立ち上げストーリーとその目指す世界についての講演です。サービスを通しお客様から着心地などのフィードバックを頂いています。こういったデータを人工知能の活用やデータ解析を行うことにより、次のお客様へのサービス価値に転化しています。「買うよりも借りの方がお得」という経済合理性の上になり立っていたレンタルサービスの価値観を覆し、「これまでにない感動するファッションとの出会い」をお届けするサービスについてお伝えします。

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 50名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 25,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

申込 「講演会繊維×AI」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

繊維リサイクル技術研究会第130回情報交換会 設立17周年記念総会・講演会 ～経済的に見合う繊維リサイクルを考える～

期日 2018年7月27日(金) 14.00~17.00

会場 京都工芸繊維大学60周年記念会館 (京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

内容

14.00~14.20 総会

14.30~14.40 開会挨拶

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

14.40~15.40 最新の話から

「アパレルにおける, 新しいエシカルの形」(OUTLETでもないリユースでもない, Rename)

..... (株)FINE 新規事業開発 ディレクター 杉村 康宏

15.40~17.00 記念講演

「環境経済学と持続可能な発展」

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 佐藤 真行

17.30~19.00 懇親会 (希望者のみ, 有料)

問い合わせ先 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫
tkimura426@gmail.com

衣coromo@未来研究会(第2回)

本研究会は、「繊維産業の未来を考える上で大切なのは、繊維技術の進歩や発展という範囲だけでなく、遠い未来の社会や暮らしを見据えた上で、直近の十数年後の繊維産業のビジョンを捉えること」をコンセプトに、本年4月に立ちあげられました。その設立総会の記念講演では、“衣”に焦点を当てて人類の過去の歩みを学び、未来につながる思考の一助としてのお話をうかがうとともに、パネルディスカッションとしてAI時代も踏まえた未来の“衣”coromoについて語り合いました。

第2回目にあたる本研究会では、ファッションを社会学として捉え、服の地産地消や地域でのものづくり、ファストファッションに対するスローファッションなど多彩な視点で研究されている成実弘至教授に、移り変わる社会とファッションとの関わりについてお話をうかがい、環境問題も含めた産業・消費の動向とファッションについて考えます。一方、社会に役立つキカイ(X-ROID)を作ることをミッションにしている(株)テムザックの高本陽一代表取締役より、「自由に行きたいところへ、人のもっている機能を拡張できる、そんな乗れるロボット」スマートモビリティ『RODEM』すなわちEV(Electric Vehicle)スーツの開発・製造とその普及についてお話をうかがいます。

講演の後は講師を囲んで討論を行います。社会や暮らし・衣coromoの未来について熱く語り合いたいと存じますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

期 日 2018年8月7日(火) 14.00~17.30

会 場 ダイキン工業(株) イノベーションセンター会議室 (大阪府摂津市西一津屋1-1(淀川製作所内))

<https://www.daikin.co.jp/tic/access/>

内 容

14.00~14.10 挨拶

..... 衣 coromo@ 未来研究会委員長, 株式会社テムザック中央研究所 所長 中村 信

14.10~15.10

講演(1)「服と社会 変化を追って」(仮)

..... 京都女子大学 家政学部 生活造形学科 教授 成実弘至

専 門: 社会学・ファッション研究

講演内容: 服と社会のありようから将来の衣を考える。ファストファッション対スローファッション。エシカル消費とファッション。

15.20~16.20

講演(2)「個人用EVスーツの時代(普及に向けて)」(仮)

..... (株)テムザック 代表取締役(CEO) 高本陽一

企業内容: 医療用, 農業用, レスキュー用, 建築用等々ロボット開発, 現在, 個人用スマートモビリティに注力

講演内容: 『時にはロボット, 時にはモビリティ, 時には車椅子として一人一人に合致した“座る”から“乗る”に進化した次世代型スマートモビリティ』について。開発のプロセスから。

16.30~17.30 討論

17.30~19.00 交流会(同会場)

定 員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 無料, 交流会(3,000円)

申 込 「衣 coromo@ 未来研究会第2回研究会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mail アドレス)を記入の上, FAX または E-mail にて, 7月31日までに申し込み下さい。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

講演会「繊維でデザインする音環境」

今日の私たちの生活環境には様々な「音」が溢れています。これまでに快適な「音環境」を構築するべく、吸音材料等が開発され提案されていますが、その多くは繊維で構成されています。近年、「音環境」制御の技術レベルは向上してきていますが、快適な「音環境」ニーズはそれ以上に高まってきています。このニーズに応え、新たな素材や材料を提案、あるいはそれらを活用するためには、「音」を制するための“吸音”のメカニズムを理解し、最新のニーズを知り、最新の技術情報を得る必要があると考えました。そこで、本講演会では、快適な「音環境」を構築する開発者に役立つと考えられる演題を選定させて頂きました。即ち、吸音のメカニズムや評価手法、また、新たな吸音素材に加え、自動車や住宅分野でのユーザー視点での快適な「音環境」に関わる考え方を学ぶことができると思います。皆様のご参加をお待ちしています。

期 日 2018年9月10日(月) 10.00~15.55

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~11.30

(1)「自動車の車内騒音評価 (吸音・遮音材料による対策技術)」

..... 愛知工業大学 工学部 機械学科 教授 谷本隆一
遮音・吸音の基礎をわかりやすく紹介し、その事例として、エンジンで発生した音がエンジンルーム内で音響増幅、さらに一重壁パネル、内装材を透過し、車室内に侵入するメカニズムと対策について解説します。さらに、車室内に侵入した音の拡散を吸音シートにより防止し、車内騒音低減に成功した事例を紹介いたします。

11.45~12.45

(2)「音響計測の手法」

..... (株)小野測器 営業本部 商品統括ブロック セミナー統括グループリーダー 富田 稔
快適な音環境の把握のためには、正確な音の計測が欠かせません。しかし、研究開発の現場ではどのように計測したらよいか解らず困ってしまうことも多いのではないのでしょうか。本講演においては、音の性質について紹介したうえで、音圧計測をはじめとする音響計測の各種手法や計測機器について事例なども交えながらお話しします。

13.45~14.45

(3)「大和ハウスの遮音・吸音材の活用法」

..... 大和ハウス工業(株) 総合技術研究所 信頼性センター安全環境性能グループ 研究員 渡邊将平
大和ハウスは「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、様々な事業展開を行っており、その中でもハウジング事業は大和ハウスの中核となる事業である。住環境性能の一つである音響性能は顧客の感性価値を充たす重要な要素である。遮音・吸音性能にフォーカスし、事例を交えながら、住宅における遮音・吸音材について紹介します。

14.55~15.55

(4)「自動車の防音性能設計と吸音・遮音の開発ニーズ」

..... (株)本田技術研究所 四輪 R&D センター 第11技術開発室 第2BL主任研究員 近藤 隆
自動車開発において防音性能は商品性を決める重要な要素となります。昨今、自動車業界は電動化や自動運転などへシフトし、静粛性のニーズは高まる一方です。そこで、自動車開発における防音性能設計の現状と課題を紹介し、将来の吸音・遮音材料へのニーズについて考察していきます。

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 25,000円、学生会員 1,000円、学生非会員 2,000円 (税別)

申 込 「講演会繊維でデザインする音環境」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

ナノファイバー研究会・不織布研究会合同研究会

日程 2018年9月13日(木)～14日(金)

会場 韓国テグテキスタイルコンプレックス Daegu Textile Complex (DTC)
Daegu Dongu palgong_ro227, <http://www.dtcomplex.org/>

協賛 大邱慶北繊維産業連合会

ツアー日程表 (予定)

	月日 (曜)	都市名	現地 時間	交通 機関	スケジュール
1	9/12(水)	大阪(関西空港) 大 邱	17:35 発 19:10 着	BX127	大阪より空路, エア釜山にて大邱へ 着後, 専用車にて移動し, ホテルチェックイン 《大邱泊》
2	9/13(木)	大 邱	午 前 午 後	専用車	午前中, ITC Convergence Expo Korea2018 視察 (韓国の Smart phone/watch, Tablet PC, 3D/ Display, 3D Printer, Smart Car, Intelligent-automobile, self-driving car) http://www.itce.kr/eng/introduction/sub_05.asp 13:00～16:00 講演会 「非常に柔軟で透明なナノファイバーベースの透明電極とその 応用」 全北大学 教授 Kim byoung suhk 「シルクの電界紡糸に及ぼす各種因子の影響, および得られた 絹ウェブの構造と性質」 慶北大学 教授 Um In Chul 16:00～17:00 韓国慶北繊維産業連合会の紹介と展示 (他の催しになる場合もございます) 17:00～20:00 日本・韓国参加者交流会(夕食パーティ) ※懇親会費5千円程度 《大邱泊》
3	9/14(金)	大 邱	終 日	専用車	終日, 企業と研究所の視察 ・TOPTEC ナノファイバー製造設備 ・韓国繊維開発研究院 ・DYETEC 研究院 《大邱泊》
4	9/15(土)	大 邱 大阪(関西空港)	午 前 15:15 発 16:40 着	BX128	午前中, 自由行動(ご希望者は企業訪問と観光)のち空路, エア釜山にて大阪へ 着後, 入国審査の後解散.

参加費 ナノファイバー研究会ならびに不織布研究会メンバー無料

学会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 10,000 円, 学生非会員 12,000 円(税別)

定員 20 名

ツアー料金 ツアー日程(3泊4日) ツアー料金 78,000 円

※含まれるもの

エコノミークラス往復航空券, 空港税・燃油サーチャージ他, 大邱クリスタルホテル・シングルルーム
3泊, 朝食3回, 企業視察ツアーバス代, EXPO 視察費など(合同研究会参加費や昼夕食, 懇親会費は
含みません)

申込方法 学会 HP より申込書をダウンロードいただき, お申込みください.

主催 一般社団法人日本繊維機械学会 ナノファイバー研究会・不織布研究会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル 6F

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

旅行取扱 株式会社インセンティブ 大阪府知事登録旅行業第1990号

〒550-0012 大阪市西区立売堀1-2-12 本町平成ビル 7F

TEL: 06-6543-8875, FAX: 06-6543-8856

E-mail: info@tehai.net 総合旅行業務取扱管理者 村松 哲臣

第 46 回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム） THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.Fuji

繊維工学研究討論会（国際シンポジウム）は、国内外の繊維工学研究者や技術者間の、繊維工学研究討論や情報交流をはかるために1972年に始まり、Mt.Fuji Conferenceの愛称で親しまれ、本年で46回目を迎えます。会議は英語使用を原則とし、口頭発表およびポスター発表が行われます。例年、国内外から60～100名が集い、30～40論文が討論され、特に若い研究者が著名な海外からの研究者と親しく話せる国際学術交流の場になっています。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月3日(月)～5日(水)

会 場 帝人アカデミー富士（旧富士教育研修所）（静岡県裾野市下和田 656）

JR三島駅より、タクシーご利用の場合、駅北口より約30分。バスご利用の場合、駅南口より須山行または遊園地ぐりんぱ行約45分「帝人アカデミー富士前」下車。

内 容 次号にプログラム掲載予定

9月3日(月) 登録、昼食、研究発表、討論、Welcome Party

9月4日(火) 研究発表、討論、ポスター発表、Beer Party

9月5日(水) 研究発表、討論（午前のみ予定）、討論会終了後国際交流会（予定）

参加費

シンポジウム全日程参加（税別、アブストラクト集代を含む）

会員 25,000円、非会員 33,000円、テキスタイル科学研究会メンバー 22,000円、学生 10,000円

Welcome Party, Beer Party, Coffee break は無料。

国際交流会（予定）：参加無料、宿泊が伴う場合有料。

宿泊食事費

帝人アカデミー富士：2名1室で3食含め1泊1名：10,000円、シングルユースの場合3,000円追加。

※宿泊部屋数に限りがありますので、ご希望に添えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

近辺のホテル：ルートイン裾野インター（静岡県裾野市御宿字幕間 1532-1）、車で約8分。

参加申込

平成30年7月31日(火)までにお申込みください。

参加申込みサイト（http://tmsj.or.jp/TRS_46th.php?lang=JP）よりお申し込みください。

問合せ先

日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第 46 回繊維工学研究討論会実行委員会

実行委員長 井上 真理（神戸大学）

実行委員 金井 博幸（信州大学） 佐藤 哲也（京都工芸繊維大学） 鋤柄佐千子（京都工芸繊維大学）

田上 秀一（福井大学） 安永 秀計（京都工芸繊維大学） 山下 義裕（大阪成蹊短期大学）

與倉 弘子（滋賀大学）

アドバイザー 松平 光男（元金沢大学、カトーテック）

PROGRAM OF THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.FUJI

TEIJIN ACADEMY FUJI
SUSONO CITY, SHIZUOKA PREFECTURE, JAPAN

September 3, 4 and 5, 2018

3th September (Monday)

11 : 00~12 : 00	Registration
12 : 00~13 : 00	Lunch
13 : 00~13 : 10	Opening
13 : 10~14 : 40	Session 1 : Production Technology of Fiber, Yarn and Textiles
14 : 40~14 : 55	Coffee break
14 : 55~16 : 55	Session 2 : Robotics and Textiles
18 : 00~19 : 30	Dinner
19 : 30~	Welcome Party

4th September (Tuesday)

8 : 30~	Registration
9 : 00~10 : 30	Session 3 : Design and Quality of Textiles
10 : 30~10 : 45	Coffee break
10 : 45~12 : 15	Session 4 : Advanced Fiber and Yarn Technology
12 : 15~13 : 30	Lunch
13 : 30~14 : 30	Session 5 : Composite and Industrial Textiles
14 : 30~14 : 45	Coffee break
14 : 45~16 : 15	Session 6 : Textiles Science and Engineering
16 : 15~17 : 15	Poster presentation
18 : 00~19 : 30	Dinner
19 : 30~	Beer Party

5th September (Wednesday)

8 : 30~	Registration
9 : 00~ 9 : 30	Session 7 : Environment and Sustainability
9 : 30~10 : 30	Session 8 : Fabric Handle and Sense Evaluation
10 : 30~11 : 30	Session 9 : Composite and Industrial Textiles
11 : 30~11 : 35	Closing Address
11 : 35~13 : 00	Lunch
13 : 00~17 : 00	Excursion

3th September (Monday)

11 : 00~12 : 00 **Registration**

12 : 00~13 : 00 **Lunch**

13 : 00~13 : 10 **Opening**

13 : 10~14 : 40 **Session 1 : Production Technology of Fiber, Yarn and Textiles**

1. **Production of non-circular cross-section fibers**

Yiwen Chen, Wataru Takarada, Takeshi Kikutani
Tokyo Institute of Technology, Japan

2. **Simulation of the sliver linear density behavior in a drawing process**

You Huh, Jung Ho Lim, Jong Sung Kim
Kyung Hee University, Korea

3. **Water wicking of knit fabric in comparison of ring yarn with of vortex**

Tatsumori Matsumoto
Murata Machiney Ltd., Japan

- Coffee Break 15 min -

14 : 55~16 : 55 **Session 2 : Robotics and Textiles**

4. **Deep reinforcement learning of robotic cloth manipulation**

Takamitsu Matsubara
Nara Institute of Science and Technology, Japan

5. **Forcibly spinning of bombyx mori silkworm silk ended in a complete failure :Spinning system of domestic silkworm**

Yutaka Kawahara
Gunma University, Japan

6. **New design of knitted gloves to stimulate hand motor rehabilitation**

Raphael Santos, Yuta Yamaguchi, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

7. **Viscoelastic flow simulation of polymer melts in the cylinder gap region for the discussion of carbon fiber bundle impregnation process**

Shuichi Tanoue, Hideyuki Uematsu
University of Fukui, Japan

18 : 00~19 : 30 **Dinner**

19 : 30~ **Beer Party**

4th September (Tuesday)8 : 30~ **Registration**9 : 00~10 : 30 **Session 3 : Design and Quality of Textiles**8. **Suppression of hair photodamage by using bio-reductants**Hidekazu Yasunaga, Aya Shomura, Martina Viková, Michal Vik
Kyoto Institute of Technology, Japan9. **The creation of buoyant fabrics by inlay knitting structure**Nga-wun Li, Chu-po Ho, Kit-lun Yick, Jin-yun Zhou
The Hong Kong Polytechnic University, H.K.10. **Unit-cell modeling of woven fabrics for digital design of textile**Atsushi Sakuma, Hikaru Miyaki
Kyoto Institute of Technology, Japan**- Coffee Break 15 min -**10 : 45~12 : 15 **Session 4 : Advanced Fiber and Yarn Technology**11. **A new spinning method and its yarn qualities**Jong S. Kim, Jung H. Lim, You Huh
Kyunghee University, Korea12. **Fabrication of microporous active membranes by electrospaying**Mohanapriya Venkataraman, Rajesh Mishra, Xiaoman Xiong, Jiri Militky, Veerakumar Arumugam
Technical University of Liberec, Czech Republic13. **Effects of process condition to galvanic traits of battery yarn**Jungho Lim, Jong Sung Kim, You Huh
Kyung Hee University, Korea12 : 15~13 : 30 **Lunch**13 : 30~14 : 30 **Session 5 : Composite and Industrial Textiles**14. **High performance fibrous sandwich composites**Rajesh Mishra, Kasthuri Rajagopala Venkatesh, Jiri Militky, Dana Kremenakova
Technical University of Liberec, Czech Republic15. **Bending properties of CFRP with braided structure**Toshiyasu Kinari, Nanang Endriatno, Takuru Suehiro
Kanazawa University, Japan**- Coffee Break 15 min -**

14 : 45~16 : 15 **Session 6 : Textiles Science and Engineering**

16. **Research and development of cervical cell harvesting fixtures from the experiment of the adsorption amount**

Hitomi Morino, Kozo Hirata
Kobe Women's University, Japan

17. **Sound absorption behaviour of perpendicular-laid nonwovens**

Tao Yang, Xiaoman Xiong, Rajesh Mishra, Jan Novák, Jiri Militky
Technical University of Liberec, Czech Republic

18. **New definition of relative surface area of nanomaterials**

Jiri Militky, Dana Kremenakova, Rajesh Mishra
Technical University of Liberec, Czech Republic

16 : 15~17 : 15 **Poster presentation**

P 1. **Relationship between surging and yarn tension in false twisting machine**

Kouichi Hayashida, Naoto Kaneda
National Institute of Technology Fukui College, Japan

P 2. **Relationship between the number of discs and the twist form in disc friction false twisting machines**

Naoto Kaneda, Ryosuke Sasa
National Institute of Technology Fukui College, Japan

P 3. **Identification of elastic characteristics of yarn woven in various textile**

Shohei Fujita, Atsushi Sakuma
Kyoto Institute of Technology, Japan

P 4. **Improvement in particle retention capacity of ultraporous nanofiber nonwoven fabric by plasma-induced surface modification**

Yasuhito Mukai, Yoshihiro Takayama
Nagoya University, Japan

P 5. **EVOH/PU composite nanofiber**

Yoshihiro Yamashita, Hajime Miyake
Osaka Seikei College, Japan

P 6. **Textile identification using robotic fingers**

Felix Von Drigalski, Ding Ming, Jun Takamatsu, Tsukasa Ogasawara
Nara Institute of Science and Technology, Japan

P 7. **Compression resilience and impact resistant properties of fibre reinforced sandwich composites**

Kasthuri R Venkatesh, Rajesh Mishra, Jana Novotna
Technical University of Liberec, Czech Republic

P 8. **Experimental study on convective heat transfer through fibrous insulators**

Xiaoman Xiong, Mohanapriya Venkataraman, Tao Yang, Rajesh Mishra
Technical University of Liberec, Czech Republic

P 9. **Study on the properties of meltblown nonwovens of poly (lactic acid)/polyamide11 blends**

Jian Han, Feichao Zhu, Bin Yu, Juanjuan Su
Zhejiang Sci-Tech University, China

P10. **Estimation of hair damage by fluorescence from berberine**

Hiroki Ogihara, Martina Viková, Michal Vik, Hidekazu Yasunaga
Kyoto Institute of Technology, Japan

P11. **Objective hand evaluation of car interior materials**

Takafumi Hata, Mari Inoue
Kobe University, Japan

P12. **Durability of Hand in Cotton Terry Fabrics**

Hiroko Yokura, Sachiko Sukigara
Shiga University, Japan

P13. **An analysis of woven fabric grain for men functional business dress shirt design using stress body area analysis method**

Vannesa Chu, Chu-po Ho, Joe Au, Jin Lam
The Hong Kong Polytechnic University, H.K.

P14. **Basic Research on Deformation Behavior of Loop in Plain Knitted Fabric under Biaxial Tension**

Yumi Fujiki, Lina Wakako*
National Institute of Technology, Ishikawa College, Japan
*: Kanazawa University, Japan

P15. **A design of "Wear promotes exercise effect" with the purpose of improving comfort**

Yoshitaka Niimi, Toshiya Jitsuishi, Hiroyuki Kanai,
Kiyohiro Shibata*,
Antonín Havelka**
Shinshu University, Japan
*: AOKI Inc., Japan
**: Technical University of Liberec, Czech Republic

P16. **Softness design of head protection gear by nonlinear deformation of porous material**

Yoshiki Umaba, Atsushi Sakuma
Kyoto Institute of Technology, Japan

P17. **Effects of Braiding Structure on Artificial Hair Lustre**

Elizabeth Kalist Akaro, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

P18. **New geometrical model of four directional 3D braided preforms**

Zunjarrao Kamble, B.K. Behera
Indian Institute of Technology Delhi, India

18 : 00~19 : 30 **Dinner**

19 : 30~ **Beer Party**

5th September (Wednesday)

8 : 30~ **Registration**

9 : 00~ 9 : 30 **Session 7 : Environment and Sustainability**

19. **Towards circular economy in textiles - a world with zero waste**

Arun Pal Aneja
East Carolina University, USA

9 : 30~10 : 30 **Session 8 : Fabric Handle and Sense Evaluation**

20. **Relation between fingertip forces and tactile perception of cashmere fabrics**

Davaajav Narantogtokh, Sachiko Sukigara
Kyoto Institute of Technology, Japan

21. **Hand evaluation of silk thin dress fabrics and washing durability**

Mari Inoue
Kobe University, Japan

10 : 30~11 : 30 **Session 9 : Composite and Industrial Textiles**

22. **Experimentally determined advanced mechanical properties of 3D spacer fabrics**

Veerakumar Arumugam, Rajesh Mishra, Dana Kremenakova, Jiri Militky
Technical University of Liberec, Czech Republic

23. **Mechanics of advanced 3D woven structural composites**

B.K. Behera, Ghanshyam Neje, Manjunath R. N.
Indian Institute of Technology Delhi, India

11 : 30~11 : 35 **Closing Address**

11 : 35~13 : 00 **Lunch**

13 : 00~17 : 00 **Excursion**

13 : 00 Departure Teijin Academy Fuji

14 : 00~16 : 00 Tour Hakone Shrine

16 : 00 Departure Hakone Shrine

17 : 00 Arrival JR Mishima Station, Dissolution

Chair	Prof. Mari Inoue	(Kobe Univ.)
Members	Dr. Hiroyuki Kanai	(Shinshu Univ.)
	Prof. Tetsuya Sato	(Kyoto Inst. Tech.)
	Prof. Sachiko Sukigara	(Kyoto Inst. Tech.)
	Prof. Shuichi Tanoue	(Fukui Univ.)
	Prof. Hidekazu Yasunaga	(Kyoto Inst. Tech.)
	Dr. Yoshihiro Yamashita	(Osaka Seikei Coll.)
	Prof. Hiroko Yokura	(Shiga Univ.)
Adviser	Dr. Mitsuo Matsudaira	(Kato Tech Co.)

企業心理と消費者心理研究会 第17回公開講座

企業心理と消費者心理研究会では、下記の内容にて第17回公開講座を開催します。今年のキーワードは動物愛護、ペット、ペット市場です。参加料は無料です。多数のご参加をお待ち申し上げます。

期 日 2018年10月26日(金) 9.30~11.00 (受付9時20分~)

会 場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館 2F211 (神戸市中央区港島1-1-3)

JR三宮、阪急三宮駅・阪神三宮駅よりポートライナーに乗り換え、みなとじま下車(乗車時間8分:三宮から4つ目)徒歩約6分。

内 容

9.30~9.35 開会の挨拶・講師紹介・司会

..... 神戸学院大学 辻 幸恵

9.35~9.55

「周辺地域と連携した、動物愛護/飼養に対する、リテラシ/モラル向上のためのサービス創造」

..... (株)ヒューマンスピリッツ S&R 事業部 部長 森下大和

9.55~10.55

「ペットをめぐる現状と課題」

..... 兵庫県動物愛護センター 事業課長 犬伏 源

10.55~11.00 質疑応答

11.00~11.15 移動と休憩

11.15~12.45 ジョリポーでのランチミーティング

注) ジョリポー神戸ポートピアホテルが運営しています

問合先 企業心理と消費者心理研究会委員長 神戸学院大学 経営学部 辻 幸恵

E-mail : yukie213@ba.kobegakuin.ac.jp

電話 : 090-4766-4513, FAX : 078-871-1121

講習会「ベテラン技術者と学ぶテキスタイル基礎講座」

テキスタイルに関わる技術は日々進展を遂げています。その一方、それらに係る基礎知識や技術を実際の製造工程に即して学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか。そこで、各分野で実務に携わってきた本学会のフェローを講師として迎え、繊維材料からテキスタイルに加工しその廃棄を考える段階までの基礎的知識について学ぶ講習会を企画いたしました。

繊維関連分野の基礎的知識について学習したい若手技術者の方、また5月に開催したテキスタイルカレッジ「2日で学ぶせんいと布づくり」に参加できなかった方などを対象に、繊維素材からテキスタイル製造までの基礎を1日で学ぶことのできる欲張りな講習会です。また、長年各分野の先端技術を開発してきた経験豊かな講師ですので、当日は様々な悩みや疑問にも対応していただけます。是非奮ってご参加ください。

期 日 2018年10月31日(金) 9.30~16.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

講 師 日本繊維機械学会フェロー

内 容

- (1) はじめに (9.30~10.00)
..... 元織研新聞 松下 義弘
- (2) 糸づくり (10.00~11.00)
..... 元日本スピンドル製造 中村 信
- (3) 織物 (11.10~12.00)
..... 元京都市産業技術研究所 八田 誠治
- (4) 編物 (13.00~13.50)
..... 元福原精機製作所 武内 俊次
- (5) 染色加工 (14.00~14.50)
..... 元大阪染工 神野友香子
- (6) 不織布 (15.00~15.50)
..... 元ニッポン高度紙工業 六田 克俊
- (7) 環境とリサイクル (16.00~16.50)
..... 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

共 催 日本繊維機械学会企画委員会, フェロー会

定 員 40名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

申 込 「講習会ベテラン技術者と学ぶテキスタイル基礎講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2日で学ぶせんいと布づくり」(2日)	
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12/4(火)	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	9/26(水)	1. 「組物」(0.5日)
		9/27(木)	2. 「織物」(1日)
		9/28(金)	3. 「編物」(1日)
		9/11(火)	4. 「不織布」(1日)
		10/5(金)	5. 「染色加工」(1日)
		11/29(木), 30(金)	6. 「染色加工(実用)」(2日)
	製 品	12月予定	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
		11/9(金)	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)
		11/21(水)	3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)
		1/16(水)	4. 「資材用繊維製品」(1日)
		3月予定	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)

テキスタイルカレッジ

「不織布」

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに物性と用途などについて，系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数の受講をお待ちしています。

期 日 2018年9月11日(火) 9.30~17.40

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

(1) 不織布概論・短繊維不織布技術-乾式不織布 (9.30~10.40)

..... 東レ(株) 不織布技術部 主任部員 小出 現

- ①日本の不織布の歴史について
- ②不織布の分類・製法，使用繊維について
- ③乾式不織布の製法，特許，後加工について
- ④乾式不織布の特徴・物性と用途について

(2) 短繊維不織布技術-湿式不織布 (10.50~12.00)

..... 特種東海製紙(株)研究開発センター 市場開発部 部長 服部 景

- ①湿式不織布の歴史，概要について
- ②湿式不織布の製法，特許，使用原料について
- ③湿式不織布の特徴・物性と用途について

(3) ナノファイバー不織布の作製と実用 (13.00~14.10)

..... ナノファイバー研究会委員長，大阪成蹊短期大学 山下 義裕

- ①ナノファイバーの歴史と特許について
- ②ナノファイバーの製法について (エレクトロスピンングパルプの微細化など)
- ③ナノファイバーの特徴と用途開発について

(4) 長繊維不織布技術-スパンボンド (14.20~15.30)

..... 東洋紡(株) 生活・産業マテリアル統括部 スパンボンド事業部長 田中 茂樹

- ①スパンボンドの歴史と概要について
- ②スパンボンドの特許，製法，使用原料について
- ③スパンボンドの特徴・物性と用途について

(5) 長繊維不織布技術-メルトブロー (15.40~16.50)

..... 高知県立紙産業技術センター 不織布課チーフ 鈴木 慎司

- ①メルトブローの歴史と概要について
- ②メルトブローの特許，製法，使用原料について
- ③メルトブローの特徴・物性と用途について

(6) 不織布の物性測定について (17.00~17.40)

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

- ①不織布の性質・機能と試験方法について
- ②不織布の製品の評価方法について

協 賛 大阪染色協会，関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円，協賛学協会員 15,000円，非会員 23,000円，学生会員 3,000円，学生非会員 5,000円 (税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ不織布」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先 (所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス)，④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「組物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「組物」の専門家を講師としてお迎えし、組物の製造方法や組み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため組紐製作実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および組物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や組物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月26日(水) 13.00~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

13.00~13.30

(1) 組紐・組物の概要

組紐・組物の概要, 組紐の歴史

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

13.30~14.10

(2) 伝統工芸品としての組紐

組紐の種類(組紐の構造)と特性, 手組技術

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

14.20~15.20

(3) 組物作製実習

..... 講師全員

15.30~16.10

(4) 産業用途の組物

産業用途の組紐種類, 技術・製品・研究動向

..... 谷口製紐(株) 代表取締役副社長 谷口道夫

16.10~17.00

(5) FRP用の組物

FRP用途の組紐技術・製品・研究動向

..... 村田機械(株) 研究開発本部 技術開発センター 魚住忠司

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員10,000円, 協賛学協会員10,000円, 非会員18,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円(税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ組物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「織物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「織物」の専門家を講師としてお迎えし、小型の実物織機を用いて織物の製造方法や織り構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため織地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および織物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や織物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月27日(木)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~10.50

(1) 織物・織機の基礎

..... 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

11.00~11.40

(2) 織物組織と特性

..... 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場秀樹

11.40~12.20

(3) 整経機

..... 津田駒工業(株)

13.20~15.00

(4) 織機

..... (株)豊田自動織 繊維機械事業部 技術部 織機技術室 横山鉄夫

15.10~15.50

(4) 織地不良と管理

..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場秀樹

16.00~17.00

(5) 織地分析実習 講師全員

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会員15,000円, 非会員23,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円 (税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ織物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「編物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「編物（ニット）」の専門家を講師としてお迎えし、編物の製造方法や編み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため編地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および編物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や編物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年9月28日(金)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～10.40

(1) 編物・編機の基礎

..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 福田ゆか

10.40～11.50

(2) 横編機と編地

..... (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 西野寿樹

12.50～14.00

(3) 丸編機と編地

..... 元福原精機製作所、京都工芸繊維大学 繊維科学センター シニアフェロー 武内俊次

14.10～15.20

(4) 経編機と編地

..... 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之

15.30～16.30

(5) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 山内宏城

16.40～17.30

(6) 編地分析実習

..... (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 西野寿樹

..... 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之

..... 元福原精機製作所、京都工芸繊維大学 繊維科学センター シニアフェロー 武内俊次

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ編物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691、FAX.06-6443-4694、E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工」

「染色加工」講座は、多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々を対象に、染色加工技術の基本的な考え方や天然繊維と合成繊維に対する染色加工技術全般について「やさしく、わかりやすく解説する」ことに重きを置いた基礎講座です。講義内容は、染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々にとって「染色加工を考えるにあたっての拠り所となり得る」ものですので、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年10月5日(金) 9.30~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

(1) 染色の基礎理論 (9.30~11.00)

…………… 梶山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
赤ちゃんだってエプロンに色々な色の“染み”を付けているように、色素が染まる(染色)現象は“自然に起こる現象”であって難しく考える必要はありません。ただ、単に色を付けることは簡単なことですが、それが商品となるように色を付けるとなると大変難しくさまざまな技術を習得、理解することが必要となります。これらの技術にはそれぞれに理論があるのですが、ここでは、最も基本的な“染まるって現象”について優しく説明します。

(2) 染料概論 (11.15~12.45)

…………… 元住友化学, 今田技術士事務所 今田 邦彦
染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

(3) 天然繊維の染色加工(基礎) (13.45~15.15)

…………… 元鐘紡, 改森技術士事務所 改森 道信
セルロース繊維(綿, 麻, レーヨン等)及びタンパク質繊維(ウール, シルク)の、染色前・染色・加工仕上工程を実施して行く上で必要となる最低限の繊維に関する知識, 代表的な染色前及び染色工程・加工工程, 及びそれぞれの工程に用いる機械についての基礎的な知識を紹介します。

(4) 合成繊維の染色加工(基礎) (15.30~17.00)

…………… 元グンゼ, ユタックス, 坂本技術士事務所 坂本 修三
生産比率が高い合成繊維のポリエステル, ナイロン, アクリルを中心に、その他各種合繊の染色加工技術および加工方法を基礎が分かるように解説します。また関連技術の付加価値加工事例と業界動向に触れます。さらに複合素材を扱う染色加工現場の諸課題を検証しながら、複合素材の同浴染色加工の体験事例を紹介します。

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会員15,000円, 非会員23,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円(税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ染色加工」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」

人の感覚という個人差が大きく漠然とした捉えどころのないもののように思うかもしれませんが、アパレル製品の着心地の良さには、見た目や触れた時の布の風合い・暑さ寒さのような温熱的快適性・動きやすさがかかわっており、これらはそれぞれ視覚や皮膚感覚である触知覚・温覚冷覚・圧覚と対応しています。これらの感覚を主観評価や生理量から捉え、布の材料特性と関連付けることで、着心地を客観的に数値で捉えることが可能です。

テキスタイルカレッジ「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」の講座では、このような繊維製品の感覚性能を評価するための手法の基礎について学びます。

まず着心地の数値化についての基本的な手法、そして人間の「触知覚」や「視覚」による布の風合い評価、アパレル製品の「衛生機能」および「運動機能」の側面からの着心地評価という観点から、その計測・評価方法を、事例を交えて基礎から解説します。

感覚性能は繊維製品だけでなく、生活の中で人が触れて用いられるものすべてに関わる性能です。繊維に関わる勉強をしている学生、アパレル製品に関連する業務を担当されている方々だけでなく、人の感覚や感性といったことに興味をお持ちの方など多くの方々のご参加をお待ちしております。

また、実際に計測してみたいという方は、テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」（12月8日開催）の受講も併せてご検討ください。

期 日 2018年11月9日(金) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

(1) アパレル製品の「着心地」を数値化するには（10.00～11.30）

..... 信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典

アパレル製品の感性品質（心地）を的確に捉えるために、主観および客観評価が必要になってきています。そこで、人間の視覚と触知覚機能、視覚や触知覚で「着心地」を評価するときに用いる官能検査方法、着心地に関連する生地の物理特性の計測・評価方法、着心地を評価しているときのヒトの生理的機能量の計測・評価方法、主観評価と客観評価結果との対応付けについて、研究成果を示しながら解説します。

(2) 風合い評価－触覚－（12.30～13.30）

..... 元金沢大学教授、カトーテック（株）技術顧問 松平 光男

布の風合い（触感）は、明治に入って英国から紳士服が日本に導入されて以来、テーラーや消費者から重要視され、風合いの良いスーツを着ることが消費者の夢であった。川端、丹羽教授らは、風合い判断が微小な荷重レベルでの初期力学特性に基づいていることを見だし、弊社と共同でKESシステムの設計、開発に成功した。日本繊維機械学会内に風合い計量と規格化研究委員会（略称HESC）を組織し、基本風合い、総合風合いを定義し、KESシステムで得られる基本力学パラメータから布の風合い客観評価法の開発に成功した。今回は、その概略を解説します。

(3) 風合い評価－視覚－（13.40～14.40）

..... 信州大学 繊維学部 准教授 金井 博幸

視覚によって評価される布の風合い（視覚的風合い）は、最終テキスタイル製品の付加価値を向上させる要因の一つです。これまで、黒色織物の外観に関する研究については多くの報告がありますが、主観的評価法や物理的特性の計量法の標準化には至っていません。ここでは織物の視覚的風合いを主観的に評価する方法について紹介し、物理的性質との対応について検討した事例を紹介します。

(4) アパレル製品の衛生機能的着心地の評価（14.50～15.50）

..... 京都教育大学 教育学部 准教授 深沢太香子

一日の生活の中で、衣服を身に着けていない時間はどのくらいでしょうか？私達は、入浴時以外は殆どいつも衣服を身に纏っています。ですから、着用する衣服は、安全でかつ心地よいものであることが重要です。ここでは、衣服を気候適応のツールととらえ、衣服の温熱的な心地よさに関わる生理指標とその評価法、そして、心理的評価法について解説します。

(5) スポーツウェアの運動機能的着心地の評価～衣服圧計測からのアプローチ～ (16.00～17.00)

…………… (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 部長 田川 武弘
 運動機能的着心地には、動きやすさや締め付け感が大きく影響します。動きやすさを阻害しない、また快適な締め付け感を、どのように測定し評価を行うかについて衣服圧計測からのアプローチを紹介し、併せて、それらの手法がスポーツウェア開発にどのように活かされているかの具体的な事例も紹介します。

共催 日本繊維機械学会信越支部, 繊維学会感覚と計測委員会

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

申込 テキスタイルカレッジ繊維製品の感覚性能と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込ならびに申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長	倉敷 哲生 (大阪大学)			
副委員長	杉山 研志 (TMT マシナリー)	東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター)		
企画委員	青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学)	秋月 健司 (東レ)	稲富伸一郎 (東洋紡)	
	内丸もと子 (M.U.PLANNIG)	小川 敦久 (クラレ)	奥野 智朗 (住江織物)	
	梶原 幸治 (キョーワ)	勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構)	黄 楚 (カトーテック)	
	佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)	佐藤 克成 (奈良女子大学)	滋野 治雄 (帝人)	
	竹本由美子 (武庫川女子大学)	筒井久美子 (村田機械)	中根 幸治 (福井大学)	
	西田 裕紀 (関西ファッション連合)	野田 博丈 (トヨタ紡織)	馬場武一郎 (日本毛織)	
	林 久秋 (豊田自動織機)	廣澤 覚 (京都市産業技術研究所)	深沢太香子 (京都教育大学)	
	藤井 智成 (津田駒工業)	堀場 洋輔 (信州大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	
	森 洋人 (アシックス)	森島 英暢 (倉敷紡績)	山田 博夫 (ユニチカトレーディング)	
	山田由佳子 (大阪教育大学)			
	アドバイザー	宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース))	木村 照夫 (元京都工芸繊維大学)	武内 俊次 (京都工芸繊維大学)
		藤井 明彦 (繊維評価技術協議会)	松崎 健 (ミズノ)	松下 義弘 (京都工芸繊維大学)

テキスタイルカレッジ

「実習：感性評価のための布特性」

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、さまざまな条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に、布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018 年 11 月 21 日 (水)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

- (1) 着心地に関わる評価の概説、布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

- (2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定
2) 布の圧縮特性、表面特性の測定
3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定
3 班に分かれ、ローテーションで実習を行います。
..... カトーテック(株)ならびに井上真理

まとめ 16.30～17.30

- (3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説および質疑応答 (ノートパソコンをご持参ください)
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工（実用）」

テキスタイルカレッジ「染色加工」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工（実用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の応用技術に関して詳細に解説していただくだけでなく、高性能素材などの要素技術さらにはエコ対応・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容には、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただいています。染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連分野をはじめ環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2018年11月29日(木)、30日(金)

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

1日目【11月29日（木）】

(1) 染色助剤および機能加工剤（10.00～12.00）

..... 元日華化学、金崎技術士事務所 金崎 英夫
最近健康志向を中心とした機能性加工が多く開発されているが、安全性、環境対策を重視する動きが急速に高まっている。そこで話題の機能性加工剤（非PFOA型撥水加工剤、抗ウイルス加工剤、防蚊加工剤、その他）の開発動向と安全性、業界動向について紹介します。

(2) セルロース系繊維の染色加工（13.00～15.00）

..... (株)東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顕
基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」と及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現場のサンプルを通して」解説します。

(3) タンパク質系繊維の染色加工（15.15～17.15）

..... 元日本毛織、元日本羊毛産業協会 長澤 則夫
ウールに代表されるタンパク質系繊維の繊維構造は非常に複雑で、元々多くの機能を併せ持っています。それだけに、このタンパク質系繊維の繊維構造を知ったうえで、染色を始めとする付加価値加工を行う必要があります。またタンパク質系繊維は物理的にも化学的にもデリケートな繊維なので、加工条件の設定には特に配慮することが求められます。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の実際の注意点を重点として解説します。

2日目【11月30日（金）】

(4) 合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

..... 元帝人、京都工芸繊維大学非常勤講師 嶋田幸二郎
合繊及びその複合織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。繊維メーカーにて技術開発してきた経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術について、染色および仕上加工の応用を重点にしてサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

(5) 捺染加工及び環境技術（CO₂削減を主に）（13.00～15.00）

..... 元日本染色協会、森本技術士事務所 森本 國宏

- 1) 個人的な嗜好や歴史的な伝統文化の表現の一つに着衣に花鳥や抽象的なデザインを施す技法に捺染（テキスタイルプリント）がある。繊維製品への捺染技術は数百年の歴史を持つ従来法と、十数年前から実用化され始めたインクジェット方式について、その技法と装置について解説します。
- 2) 染色加工産業は、繊維産業の中で突出した資源（エネルギー、化学薬品、水等）の大量消費産業である。一般には、企業形態は中小企業が多いため、その消費量については個々には余り注目を浴びていないが、全国的な規模、世界規模で俯瞰するとその消費量は膨大な物である。特に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素排出量の削減は最重要課題である。品質や生産性を落とさずに化石燃料、電力消費量を減じる技術を中心に、今後予想される問題点についてもその解決策について共に議論する場としたい。

(6) 繊維製品の性能評価 (15.15~17.15)

..... 元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一
 我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例, 機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について, その付与メカニズムと評価方法について解説します.

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 25,000 円, 協賛学協会員 25,000 円, 非会員 33,000 円, 学生会員 5,000 円, 学生非会員 7,000 円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ染色加工 (実用)」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会 (無料) への参加有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい. 学会 HP より WEB 申込みができます.

申込先 日本繊維機械学会
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	上野 清隆 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東北部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顯 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)	

テキスタイルカレッジ

「合成繊維（実用）」

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにしています。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2018年12月4日(火) 10.00~17.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00~11.00

(1) 化合繊維概論

種々の化学繊維の特性などを説明し、産業論にも少し触れます。

..... 山崎技術士事務所 代表、京都工芸繊維大学 非常勤講師 山崎 義一

11.10~12.40

(2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質

3大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。

..... 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次

13.40~15.00

(3) 繊維化プロセスと物性－構造と形態の制御－

紡糸工学の概要を説明し、特に複合紡糸を含む熔融紡糸の実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性、形態制御などと関連づけて解説します。

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

15.10~16.20

(4) 合成繊維の高次加工－糸加工、製布

..... 元東レ、日本繊維技術士センター 執行役員 木村 俊彦

合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について説明します。

16.30~17.30

(5) スーパー繊維とその用途展開

..... 東洋紡(株) 総合研究所 コーポレート研究所 部長 寺本 喜彦

近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合、日本化学繊維協会

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ合成繊維（実用）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

日本繊維機械学会 第25回秋季セミナー 「せんいが拓く未来」

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第25回となる今回は来る11月15日(木)、16日(金)の両日、大阪市の大阪大学中之島センターで開催いたします。

今回は「せんいが拓く未来」をメインテーマにしました。繊維製品は古くから時代のニーズに応えたイノベーションが生まれることで、広く人々の生活を豊かにしてきました。その一方、繊維製品も他の製品と同様に、人々の豊かさに比例して地球環境への負荷を大きくしていることが近年問題になっています。その理由は製造や輸送に大量のエネルギーが必要となるためです。我々は自らの活動基盤となる地球環境を蝕みつつ、その活動を永く続けることはできません。

このようなことから、未来の繊維は、モノとしての価値だけでなく、地球環境への負荷削減という使命がますます求められていくと思われまます。そして、それに応えるイノベーションを起こす企業や団体が、今後は生き残っていけないのではないのでしょうか。

特別講演では、永きにわたりこのような取り組みを実践されている倉敷紡績様のご講演や、現在全世界で展開中のSDGs「持続可能な開発目標」について科学技術振興機構様のご講演を企画しました。すでに多くの企業や団体が環境負荷という視点を含めた様々な課題に取り組み、人々の生活の豊かさを目指したイノベーションが生まれつつあります。

テーマ別講演では、これらのホットなテーマについて、関係分野の第一人者によるご講演を企画しました。また、本セミナーの役割には繊維技術交流をより積極的に進めることがあります。その役割に資するために、今回も、全国の公的試験機関の研究開発成果発表について、機器展示・ポスター展示を行います。

本セミナーが、今後のものづくりの方向性を考え、議論する場になれば幸いです。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

期 日 平成30年11月15日(木)、16日(金)

会 場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島4-3-53)
<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/index.php>

内 容 予定

第1日目【11月15日(木) 午後】

10階 佐治敬三メモリアルホール	
12:50	開会の辞 第25回秋季セミナー実行委員会委員長, TMTマシナリー(株) 杉山研志
12:55	挨拶 (一社)日本繊維機械学会会長, 京都工芸繊維大学教授 鋤柄佐千子
13:00~14:00	特別講演(1) 「SDGsと科学技術イノベーション」 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 理事 白木澤佳子 国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」について様々なところで見たり聞いたりする機会が増えていますが、2030年までの達成を目指して、自分は何ができるのかと悩まれている方も多いと思います。今年の4月に「持続可能な社会推進室」を立ち上げたJSTの取り組み等をご紹介します。皆さんと考えたいと思います。
14:10~15:10	繊維関連公設試によるショートプレゼンテーション
15:20~16:20	特別講演(2) 「研究・開発で未来を切り拓く」 倉敷紡績株式会社 常務執行役員 技術研究所長 八木克眞 ・会社紹介(自己紹介, 130周年 etc) ・当社研究所(概要, テーマ, 研究内容) ・これからの方向(society5.0, オープンイノベーション) ・若い研究者へのメッセージ
16:30~17:20	繊維関連公設試によるポスターセッション(7F 講義室703)
17:20~18:50	交流会(会場:2F カフェレストランスコラ)

第2日目 [11月16日(金)]

	A会場 (7階 講義室 703)	B会場 (7階 講義室 702)
	繊維機械と価値創造	みらいを纏う
10:00 }	<p>日本繊維機械学会技術賞受賞講演 「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構の開発」 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 先行開発 課長 梅原嘉人</p> <p>従来のドラム機構は糸の綾振りとドラムとの摩擦でパッケージを駆動させる合理的なシステムでした。新方式のトラバース機構はパッケージ駆動と糸の綾振りの2つの独立させた装置をサーボ制御にて高速稼働することで更に高精度且つ自由度の高い巻きを実現しています。本講演ではその特長と技術内容について紹介します。</p>	<p>「ウェアラブルエレクトロニクスの国際標準化」 東洋紡(株) 総合研究所 主幹 IEC/TC124 国内審議委員会 幹事長 前田郷司</p> <p>国際標準化の意義を成功例、失敗例を用いて解説し、次いでウェアラブルエレクトロニクス分野に関する標準化活動、ならびに、伸縮性導体シート COCOMI[®]を用いた衣服型の心電測定デバイスを例にして、ウェアラブルエレクトロニクスの標準化における課題について述べる。最後に日本における国際標準化への対応状況について紹介します。</p>
10:55 }	<p>「四軸[®]織物『Tetras[®]』の開発と実用化」 明大(株) 代表取締役 小河原敏嗣</p> <p>1. 明大株式会社が取り組んできたこと 2. 四軸織物自動織機の開発経緯 3. 四軸織物の特徴 4. 四軸織物の基本設計 5. 四軸織物の用途展開 6. 四軸織物の展望 7. 明大株式会社が現在取り組んでいること</p>	<p>「導電繊維と高周波回路で実現するウェアラブルネットワーク」 南山大学 理工学部 機械電子制御工学科 准教授 野田聡人</p> <p>「ウェアラブルデバイス」と言えば、今のところ時計型や眼鏡型といったアクセサリのような形態のものがほとんどです。衣服の形をした「着られるデバイス」の実装には、衣服に分散したコンポーネントへの給電とそれらの間の通信が課題となります。この実装方法の一例とその応用可能性について紹介します。</p>
11:50 }	<p>「エネルギー原単位ナンバーワンの染工場をめざした全社の取り組み」 オザワ織工(株) 代表取締役 小澤俊夫</p> <p>平成29年度省エネ大賞「経済産業大臣賞」受賞の事例。愛知県一宮市に立地する従業員85人の糸染色工場において、全員参加による徹底した省エネルギー活動を展開。独自アイデアによる40テーマの省エネ改善を実行して3年間で約30%の省エネルギーを達成。生産量を維持しつつ第一種指定工場から第二種への移行を実現した事例を紹介します。</p>	<p>「ウェアラブルLED ダンスパフォーマンスシステム」 mplusplus(株) 代表取締役社長 藤本 実</p> <p>2007年に神戸ルミナリエでのパフォーマンス用に衣装にLEDを取り付けてから11年。LED制御の進化、無線技術・マイコンの進化に伴って衣装としての表現力、動きやすさなどが大きく変化してきました。パフォーマンスの実例をもとにLED衣装の進化をお見せします。</p>
昼食 (12:35 ~ 13:40)		
	A会場 (7階 講義室 703)	B会場 (7階 講義室 702)
	生活を豊かにする機能繊維	アパレルがつくるやさしい未来
13:40 }	<p>日本繊維機械学会技術賞受賞講演 「環境に優しい高耐久防汚加工技術」 東レ(株) テキスタイル・機能資材開発センター 第1開発室 竹下将太</p> <p>本講演では、弊社独自の繊維ナノスケール加工技術を駆使し、布帛に対して汚れがつきにくくする性能(SG性)と、汚れを落としやすくする性能(SR性)を極限まで高めた環境に優しい高耐久防汚加工に関する技術開発概要と、本防汚加工技術を適用した商品群の展開状況について報告します。</p>	<p>「子どもたちの体力から考える現状とこれから」 京都教育大学 体育学科 准教授 小山宏之</p> <p>近年の子どもたちの走・跳・投といった基礎的な運動能力や筋力は昭和60年頃をピークに下降を続けている。さらに、自分の体をコントロールできない、動きが不器用など、体を巧みに動かす能力の低下は子どもの怪我の発生率とも関連し、この30年間で骨折件数は1.7倍に増加しているという報告もある。</p> <p>講演では子どもの体力問題を中心に子どもたちの現状について考えていきたい。</p>
14:35 }	<p>「温度調整機能を有する新規樹脂開発、および繊維への応用」 住友化学(株) 先端材料開発研究所 機能材料開発グループ 主席研究員 小田精二</p> <p>近年高まりを見せている、更なる生活の質向上、特に生活環境の快適性向上のニーズに応えるべく機能繊維開発が進んでいる。当社は、快適性への影響が大きいとされる環境温度変化に対して樹脂自体の吸放熱により温度調整する新しい樹脂を開発した。本講演では、該樹脂の特徴、および該樹脂を用いた繊維の機能評価結果を報告します。</p>	<p>「マッスルスーツをはじめとするウェアラブルロボットによる生活支援」 東京理科大学 教授、㈱イノフィス 取締役 CTO 小林 宏</p> <p>腰補助用マッスルスーツは、2018年3月時点で出荷台数3,300台を越え、肉体労働のあらゆる現場で使われ始めている。ユーザの声を受け、様々な改良と開発を行っている。その現状を報告する。また、創業理念である「生きていく限り自立した生活」を実現するために開発している、障がい者の自立支援機器等も紹介します。</p>
15:30 }	<p>「セルロースナノファイバーの構造・特性と応用展開」 東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授 磯貝 明</p> <p>再生産可能な木質バイオマスを原料として調製される新規バイオ系ナノ素材であるセルロースナノファイバー(CNF)について、その多様な製造方法と特異的な構造・特性・分析・評価方法等を紹介し、CNFを先端および汎用部材に利用する際に期待される機能と課題、研究開発動向について国内外の事例に基づいて説明します。</p>	<p>「身体障害者のための共創的衣服作製の取り組みとしてのバーチャル着装アプリ開発」 産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 人間情報研究部門 一刈良介</p> <p>車いす利用者は、試着の困難さや体形・運動機能に起因する個別事情など衣服に関する多くの問題を抱えている。車いす利用者負担を軽減し試着結果の確認と体形計測を可能にするバーチャル着装アプリを開発している。今後、ポータルを通じてアプリを配布し、体形データと型紙データを収集する共創的衣服作製に取り組んでいく。</p>
16:15	閉会の挨拶	

参加費 会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円, 特定会員 (65 歳以上の正会員) 8,000 円 (税別)

申込 「第 25 回秋季セミナー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加 (参加無料) の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より WEB 申込ができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第 25 回秋季セミナー 繊維技術交流研究試作品・指導作品・研究成果及びポスター募集

第 25 回秋季セミナーでは, ものづくりの潮流 ~価値創造の進路を求めて~をテーマに開催いたしますが, 繊維技術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓, 新製品開発及び技術改善等の研究成果・試作品及びポスターを募集いたします。公設試験研究機関, 産地の中小企業およびコラボレーションによる作品をお待ちしております。

日時 2018 年 11 月 15 日(木)

会場 大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)

内容

- (1) ショートプレゼンテーション
- (2) 作品およびポスターの前にて参加者と交流

ショートプレゼンテーション

1 件 約 4 分のプレゼンを行います。

作品およびポスター発表(交流)

ポスターの前にて参加者と交流

定数 16 件 (定数になり次第締め切らせて頂きます)

その他 詳細は学会 HP をご参照下さい。

講演会「ITMA ASIA+CITME 2018(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が2018年10月15日～19日の日程で上海にて開催されます。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME 2018(上海)に参加される方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2019年1月25日(金)

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

開会の挨拶(9.55～10.00)

- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (1) 全般(10.00～10.40)
- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会委員長, 金沢大学教授 喜成年泰
- (2) 合繊機械(10.40～11.20)
- 紡糸巻取関係 TMT マシナリー(株)
- 加工機関係 TMT マシナリー(株)
- (3) 紡績機械(11.30～12.10)
- (株)豊田自動織機
- (4) 革新精紡機(12.10～12.30)
- 村田機械(株)
- (5) 自動ワインダー(12.30～12.50)
- 村田機械(株)
- (6) 織機(13.50～14.30)
- 津田駒工業(株)
- (7) 編機(14.30～15.10)
- (株)島精機製作所
- (8) 染色加工機械(15.20～16.00)
- (株)日阪製作所
- (9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)
- コニカミノルタ(株)
- (10) ディスカッション(16.40～17.20)
- 講演を頂きました講師

閉会の挨拶(17.20～17.25)

- (11) 交流会(17.30～19.00)

共 催 繊維機械研究会

定 員 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

申 込 「講演会ITMA ASIA + CITME 2018(上海)視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

北陸支部 支部年会ならびに施設見学会

期 日 2018年7月30日(月) 14.00~15.30

会 場 福井大学文京キャンパスアカデミーホール (福井市文京 3-9-1)

内 容

- (1) 定時年会 (14.00~14.45)
- (2) 学内研究施設見学会 (14.45~15.30)

内容：オープン R&D ファシリティ, 産学官連携本部

参加費 無料

申 込 氏名, 所属, 返信用メールアドレスを明記のうえ, 下記宛申込み下さい.

申込先・問合せ先 福井大学学術研究院 工学系部門 植松英之

E-mail : uematsu@matse.u-fukui.ac.jp

FAX : 0776-27-8767, TEL : 0776-27-9952

関東支部 平成30年度通常支部年会

期 日 2018年10月4日(木)

会 場 東京工業大学大岡山キャンパス南 8 号館 811 号室 (会議室) (東京都目黒区大岡山 2-12-

最寄り駅：大岡山駅 (東急目黒線、東急大井町線)

<http://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/midorigaoka.html>

内 容

支部総会 (15.30~16.45)

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告
- 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告
- 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画案
- 第 4 号議案 平成 30 年度予算案

申 込 (E-mail または FAX でお願ひします)

E-mail : kawahara@gunma-u.ac.jp, FAX : 0277-30-1491

問合せ先 (可能な限り E-mail でお願ひします)

河原 豊 (Tel : 0277-30-1491, kawahara@gunma-u.ac.jp)

群馬大学 理工学府 環境創生部門 (〒 376-8515 桐生市天神町 1-5-1)

協賛行事 第43回複合材料シンポジウム

- 期日** 2018年9月13日(木), 14日(金)
会場 富山国際会議場大手町フォーラム 2F (東京都目黒区大岡山 2-12-1)
主催 日本複合材料学会
内容 詳細は日本複合材料学会 HP (<http://www.jscm.gr.jp/>) をご参照下さい。

協賛行事 第42回静電気学会全国大会

- 期日** 2018年9月13日(木), 14日(金)
会場 東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区大岡山 2-12-1)
主催 静電気学会
内容 詳細は静電気学会 HP (<http://www.iesj.org/>) をご参照下さい。

お知らせ FMC9月度セミナー

FMC (ファッション素材センター) の9月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

- 期日** 2018年9月7日(金) 18.15~20.00
会場 大阪産業創造館 5F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)
内容 ショッピングセンタービジネスの仕組みとルクア大阪の戦略について
 一般社団法人日本ショッピングセンター協会によると、2017年のショッピングセンター(SC)年間売上高は前年比+2.3%となり、8年連続で前年を上回った。また、JR大阪駅に立地する「ルクア大阪」でも、地下1階・地下2階の大規模リニューアルを終え、全館営業体制となった2018年4月以降、大きく前年を上回り続けている。
 本セミナーでは、売上を伸ばし続けるSCの競争優位の源泉と、ますます競争が激化する梅田において、持続的発展を遂げている「ルクア大阪」の戦略について、マーケティングの観点からお話します。
講師 西日本旅客鉄道(株) 創造本部ショッピングセンター事業統括チーム 課長 舟本 恵
参加費 ビジター会員 2,000円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年11回のセミナー(10月は見学会)に無料で参加できます。年会費12,000円でどなたでも会員になれます。]
申込 「FMC9月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話またはFAX番号をご記入の上、8月31日(金)までにE-mailにてお申し込み下さい。
申込先 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC事務局
 E-mail : fmc.office.mail@gmail.com